

ダントツ
行く! 1



洗濯乾燥機

イラスト◎谷口シロウ

水

結婚して10年。新婚時代に買った洗濯

機がとうとう壊れたので、さっそく電気屋さんへ。最近のトレンドは、洗濯から乾燥まで一気にできる洗濯乾燥機なんですって。共働きで夜に洗濯をする人や、うちみたいに子供がいて、雨の日でも洗濯して部屋干しする家庭にはうってつけ。一度にたくさん洗えて、乾燥まで一気にやってくれらるとラクチンですね。

でも迷うのが、どんなタイプのものを買ったらいいのか。使い慣れた縦型の「うずまき式」と最近はやりの「ドラム式」、どちらがいいのかしら? 「うずまき式」は洗浄力が高いみたいだし、「ドラム式」のほうは、衣類を上から落として、少ない水でたたく洗いできるのが特長なんですって。使い勝手や汚れ落ちのよさはもちろんのこと、衣類の傷みの少なさも大事ですよ。

「電気代や水道代などの節約」も重要な比較ポイント。やはり環境には気を使いたいもの。また、洗濯槽の黒カビや衣類の雑菌、部屋干ししたときのイヤなおいも気になります。洗濯するだけで花粉や雑菌をしっかりと落としてくれると、さらにう

れしいのだけど……。
そんな都合のいい洗濯乾燥機はないかしら?と思っていたら、ピッタリなのがありました。

日立の「ビートウォッシュ」は、少ない水でしっかりと洗って汚れを落とし、素早くふんわり乾かしてくれるスグレモノ。実はこの洗濯乾燥機、「うずまき式」でも「ドラム式」でもない、第3世代の方式なのです。その秘密は、洗濯槽床面の羽根、「ビートウイング」と「節水循環方式」。ダントツの白さと仕上がりなのに、新婚時代に買った洗濯機と比べて、使用水量は約7割も節約できるんですって! 早速、おじいちゃんにおねだりしちゃおうって。

通称ダントツさん。首都圏郊外の一戸建てに住むダントツ家の嫁、34歳の専業主婦。夫と子供2人(息子9歳と娘4歳)、おじいちゃん、イチロー(大型犬)の5人+1匹家族。趣味のテニスやPTAに忙しく、料理も家事も手抜きをしたいチャッカリ主婦。



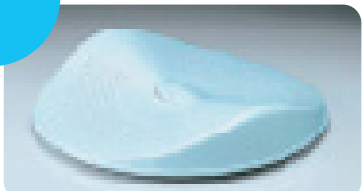
押して、たたいて、もみ洗う「ビート式」



「BEATWASH」は、世界初の「ビート式」。少ない水を効率よく循環させて、高濃度の洗浄液が染み込んだ衣類を、洗濯槽床面の羽根「ビートウイング」で上下させてビート洗い。まるで手で「押し洗い」や「たたき洗い」、「もみ洗い」をしたみたいにしっかりときれいになって、布が傷みにくい。しかも、衣類がからまないから、取り出しもラクラク。



ココがダントツ! 1



ココがダントツ! 2

乾燥の際には、「ビートウイング」の表面をすべらせながら衣類を舞い上げるから、すみずみまで温風が行きわたり、シワを抑えてムラなくスピーディーに乾かしてくれるの。

ココがダントツ! 3

「ナノチタン消臭乾燥フィルター」で、衣類についたたばこのニオイなどもしっかり消臭。フィルターの効果で花粉も除去してくれるから、花粉症のおじいちゃんも大喜び。



ホットビート洗浄で際立つ白さ、「ビートウォッシュ プレミアム」(BW-DV9F)

この夏、「BEATWASH」がさらに進化し、「ホットビート洗浄」機能を採用。高濃度洗剤液を衣類にふりかけ後、温風で衣類を温めることにより、洗剤の酵素の働きを活性化させ、より高い洗浄力と節水を同時に実現しました。洗濯容量が9kgの「プレミアム」とともに、8kg/7kgの「スリム」もラインアップしました。